



# クラウドスケッター

## CT-AR17

### 設置マニュアル

Ver.1.0

クラウドテレコム株式会社



Cloud Telecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

Confidential

## 改訂履歴

Rev.	作成日	改定項目	改定内容
1.0	2026年5月15日	初版	

©2026 Cloud Telecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、著者からの許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

## 注意事項

- ・本サービス及び本マニュアルのご利用条件は、モバビジサービス利用規約に準じます。
- ・本サービスの仕様、概観及び本サービスに含まれるものは、予告なく変更されることがあります。
- ・本マニュアル記載の会社名または製品名は各社の商標または登録商標です。
- ・本マニュアルに関する著作権は、クラウドテレコム株式会社に帰属します。
- ・本マニュアルは、本サービスのライセンス契約に基づき開示されるもので、本マニュアルを第三者に閲覧または譲渡することはできません。
- ・本マニュアルの記載内容は、予告なく変更されることがあります。
- ・本マニュアルの記述でお気づきの点があればご連絡ください。

## 内容

1. はじめに……………P.4
2. 機器組立ておよび配線と電源投入……………P.5
3. 管理画面ログイン……………P.7
4. 各設定項目について……………P.8
5. 設置後の動作確認（必ず行ってください）……………P.11
6. 「WiFi（アクセスポイント）」の設定確認……………P.13

## 1. はじめに

(1) 機材が届いたら同梱物が揃っているか確認を行ってください。

足りないものがある場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

- ① 本体
- ② AC アダプター
- ③ アンテナ（端子に雄雌があるので注意）  
※膨らみがあるのが Main/AUX、WiFi 表記が WIFI 用
- ④ 設置後動作チェックシート



◆クラウドテレコム サポートセンター：<https://support.mobabiji.jp/ivr/>

Tel：03-6416-1182（ユーザー様 窓口）

※販売代理店専用窓口については、各販売代理店管理者様へお問い合わせください。

Mail：[support@mobabiji.jp](mailto:support@mobabiji.jp)

受付時間：平日 10 時～18 時、メールは 24 時間受付にて順次回答いたします。

(2) CT-AR17 の AC アダプターはピン端子となっております。

断線の恐れがありますので、ケーブルを持って強く引き抜かないようにご注意ください。

※端子の根本を持っていただければ軽い力で抜き差しが可能です。

(3) 初回起動時はアクティベーション動作が入ります。

初回起動後は SIM の設定を読み込むためのアクティベーション動作が走ります。

起動から 5 分程は電源を落とさないようにご注意ください。

## 2. 機器組立ておよび配線と電源投入

### ① クラウドスケッター（CT-AR17 の場合）にアンテナを設置する

差込口（オス・メス端子）に応じて、対応するアンテナを取り付けてください。  
 ※規格が異なりますので、無理に差し込むと破損の原因となります。ご注意ください。

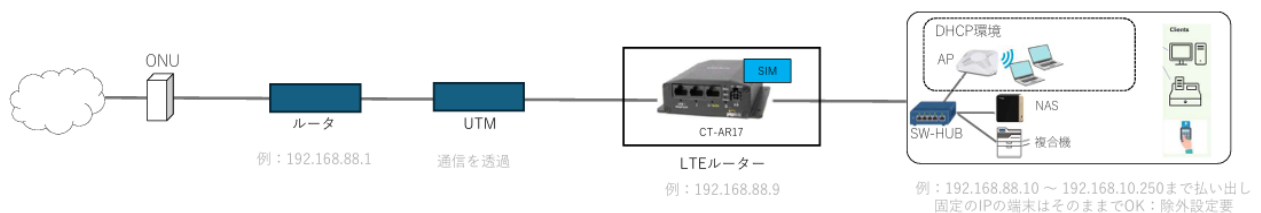


### ② 光回線が繋がっているルーターの直下で、まずは「3/WAN」に LAN ケーブルで接続を行う。

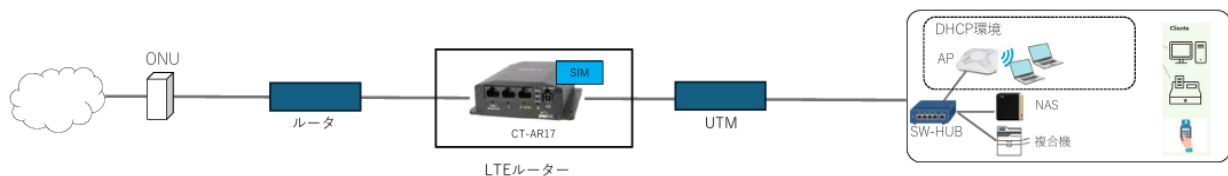
※1.CT-AR17 の WAN 側にて光回線の故障検知動作（インターネット接続可否確認）を行います。

### ★基本の構成（既存のネットワーク上流に設置する場合）

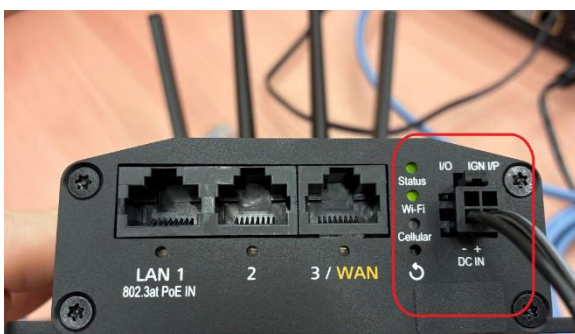
#### □パターン 1



#### □パターン 2

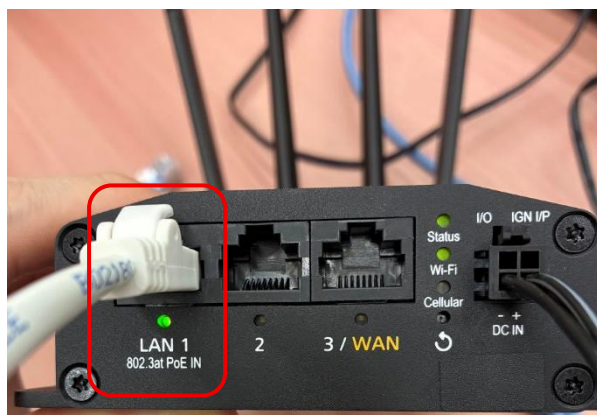


- ③ AC アダプターで CT-AR17 の電源を入れる。



- ④ 電源を入れたらアクティベーションが完了するまで 5分ほど待つ。

- ⑤ ランプの点滅が落ち着いたら、「LAN 1」からパソコンを接続する。



⇒ [「3.管理画面ログイン」](#)に進む。

### 3. 管理画面ログイン

- ① CT-AR17 の Wi-Fi ネットワーク、または LAN 側に PC を接続する。

※Wi-Fi については本体裏側の SSID 等のシールを確認して接続する。

- ② 自身の PC の IP アドレスが「192.168.1.××」となっていることを確認する。

※コマンドプロンプトであれば ipconfig を叩く事で確認可能です。


```

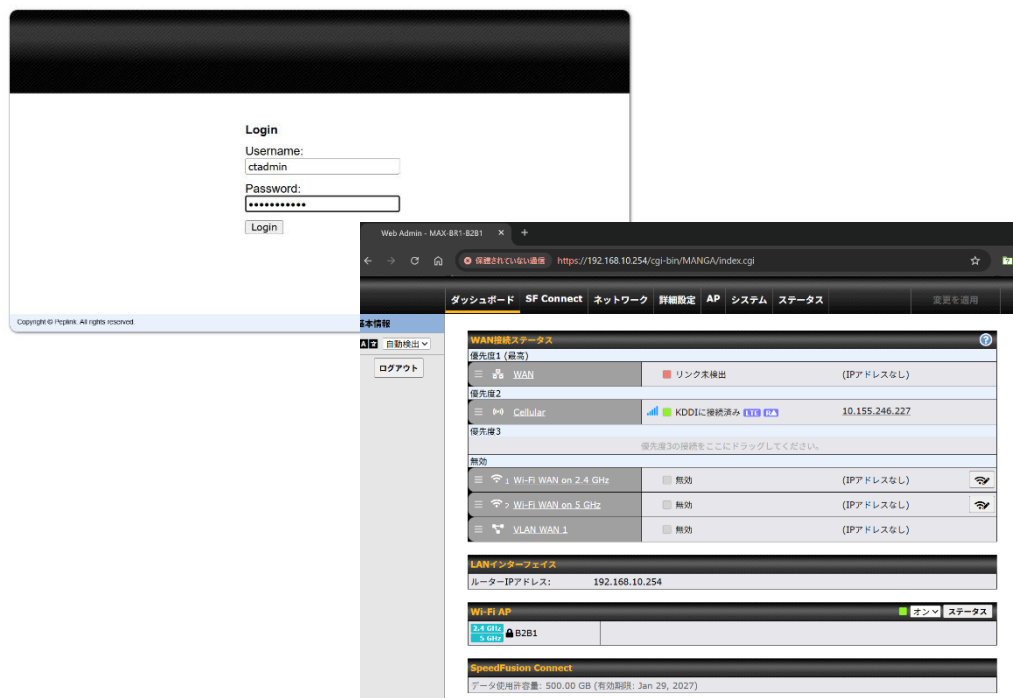
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .: fe80::fe68:75c8:a9e:ea80%5
IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.88.23
サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 192.168.88.1
  
```

- ③ インタネットブラウザで「<https://192.168.1.254/>」を URL 欄に入力して検索する。

管理画面が出たら「ID : ctadmin パスワード : Admin12345!」でログインをする。

※本体背面の Username/Password は原則使用しません。

- ④ 



## 4. 各設定項目について

- ① ダッシュボード > WAN 接続ステータス > Cellular が接続済みとなっていることを確認  
 →接続がされていない場合は、アンテナが正常に取り付けられているか、  
 電波が十分に届く場所に設置できているか、など改めて確認してください。  
 →接続が正常にされない場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

Web Admin - MAX-BR1-B2B1

保護されていない通信 https://192.168.10.254/cgi-bin/MANGA/index.cgi

ダッシュボード SF Connect ネットワーク 詳細設定 AP システム ステータス 変更を適用

基本情報

自動検出

ログアウト

**WAN接続ステータス**

優先度1 (最高)

WAN	リンク未検出	(IPアドレスなし)
-----	--------	------------

優先度2

Cellular	に接続済み LTE RA	10.155.246.227
----------	--------------	----------------

優先度3

優先度3の接続をここにドラッグしてください。

無効

Wi-Fi WAN on 2.4 GHz	無効	(IPアドレスなし)
Wi-Fi WAN on 5 GHz	無効	(IPアドレスなし)
VLAN WAN 1	無効	(IPアドレスなし)

※優先度1・2等は移動させないでください。正常に動作がしなくなります。

- ② ネットワーク > タグなしLAN を押して、設定を開く

保護されていない通信 https://192.168.10.254/cgi-bin/MANGA/index.cgi?mode=config&option=lan

ダッシュボード SF Connect ネットワーク 詳細設定 AP システム ステータス 変更を適用

LAN

- ネットワーク
- ポート
- キャプティブポータル

WAN

ログアウト

InControl管理が有効になりました。InControl経由で設定が可能です。

LAN	VLAN	IPアドレス/ネットワーク
タグなしLAN	[1]	192.168.10.254/24

新しいLAN

静的ルート設定

静的ルート	宛先ネットワーク	サブネットワークマスク	ゲートウェイ
		255.255.255.0 (/24)	

仮想ネットワークマッピング

1対1 NAT	ローカルネットワーク	仮想ネットワーク
多対1 NAT	ローカルネットワーク	仮想IPアドレス

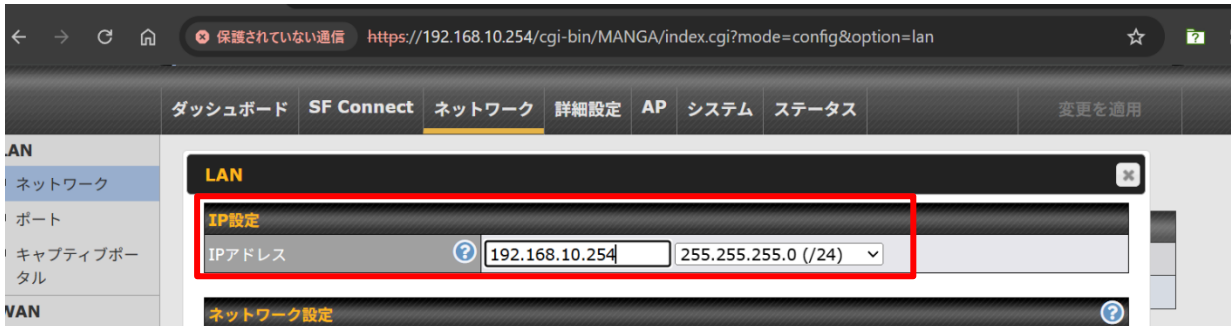
DNSプロキシ設定

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
DNSキャッシュ	<input type="checkbox"/>

## ③ IP 設定 &gt; IP アドレス を、設置環境の DHCP 設定範囲に合わせて変更

※既存ルーター機器が 192.168.10.1 を使用している場合は、192.168.10.254 など。

→設定保存後は、設定し直した IP アドレスで再度管理画面へのログインが必要となります。



## ④ Drop-in モード設定 &gt; WAN デフォルトゲートウェイ を、設置環境に合わせて変更

※既存ルーター等、CT-AR17 へ DHCP 払い出しを行う機器の IP アドレスにする。

Drop-inモード設定	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
Drop-inモード用WAN	WAN▼ <input checked="" type="checkbox"/> VLANネットワークのインターネット通信にNATを適用する <small>VLANネットワークからのインターネット通信がこのデバイス経由でルーティングされる場合があります。このチェックボックスを選択すると、トラフィックはNAT処理されてからWANに転送されます。不明な場合は有効のままにしてください。</small>
WANデフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
WAN DNSサーバー	DNSサーバー1: 8.8.8.8 DNSサーバー2: 8.8.4.4
<small>補足: DHCPサーバー設定は上書きされます。</small> <small>以下のWAN設定が上書きされます: 接続方式、MTU、ヘルスチェック、追加のグローバルIP、ダイナミックDNS</small> <small>PPTPサーバーは無効になります。</small> <small>補足: 「サービス転送」のDNSフォワーディング設定を確認してください。</small>	

※標準として、DNSlookup にて疎通確認を行う機器となります。

社内で Google 等へ DNS を設定することが不可という場合は、指定先の変更を行ってください。

なお、変更された場合、設定完了後に正常に WAN 側が

光回線⇄Cellular で通信が切り替わる事を必ず確認してください。

## ⑤ DHCP サーバー設定の変更

- ・ IP 範囲: 本ルーターより下流の端末に割り当てる IP アドレスの範囲を設定してください。  
※上流ルーターが使用していない範囲を割り当てることを推奨しております。  
192.168.××.2~199 を既に使用している場合は、  
192.168.××.200~250 で 50 台分開けるなど。
- ・ DHCP 除外範囲/予約: 固定 IP アドレスを割り当てたい端末等がある場合等は使用してください。

DHCPサーバー											
DHCPサーバー	<input checked="" type="checkbox"/> 有効										
DHCPサーバーログ	<input type="checkbox"/>										
IP範囲	192.168.10.200 - 192.168.10.250	255.255.255.0 (/24)	▼								
リース期間	1 日 0 時間 0 分										
DNSサーバー	<input checked="" type="checkbox"/> DNSサーバーを自動的に割り当て										
BOOTP	<input type="checkbox"/>										
DHCP拡張オプション	<table border="1"> <thead> <tr> <th>オプション</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">拡張DHCPオプションはありません</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">追加</td> </tr> </tbody> </table>			オプション	値	拡張DHCPオプションはありません		追加			
オプション	値										
拡張DHCPオプションはありません											
追加											
DHCP除外範囲	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開始IP</th> <th>終了IP</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">+</td> </tr> </tbody> </table>			開始IP	終了IP				+		
開始IP	終了IP										
		+									
DHCP予約	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>MACアドレス</th> <th>静的IPアドレス</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>00:00:00:00:00:00</td> <td></td> <td style="text-align: center;">+</td> </tr> </tbody> </table>			名前	MACアドレス	静的IPアドレス			00:00:00:00:00:00		+
名前	MACアドレス	静的IPアドレス									
	00:00:00:00:00:00		+								
ユーザーアカウントのIPアドレス予約	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ユーザー名</th> <th>静的IPアドレス</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">+</td> </tr> </tbody> </table>			ユーザー名	静的IPアドレス				+		
ユーザー名	静的IPアドレス										
		+									

→保存を押し、元の画面で **変更を適用** を押す。※接続が一度切れます。

変更内容を保存しました。「変更を適用」ボタンをクリックすると、設定が有効になります。

InControl管理が有効になりました。InControl経由で設定が可能です。

LAN	VLAN	IPアドレス/ネットワーク
タグなしLAN	[1]	192.168.10.254/24

新しいLAN

静的ルート設定

## 5. 設置後の動作確認（必ず行ってください）

- ① ブラウザに設定した IP アドレス（<https://192.168.××.254/>）を入力して、再度管理画面へのログインを行いつつ、「3/WAN」に上位ルーターからの LAN ケーブルを接続する。



- ② ダッシュボード > WAN 接続ステータス

WAN が接続済み、Cellular がスタンバイとなったことを確認する。

優先度	接続種別	接続状態	IPアドレス
優先度1 (最高)	WAN	接続済み	192.168.10.254
優先度2	Cellular	スタンバイ	10.155.246.227

- ③ システム > Traceroute にて、接続: WAN 宛先: 8.8.8.8 で接続できることを確認する。

※8.8.8.8 が使用できない場合は、任意の宛先を指定してください。

接続	宛先
WAN	8.8.8.8

結果

```

traceroute to 8.8.8.8 (8.8.8.8), 30 hops max, 60 byte packets
 1 192.168.10.1 (192.168.10.1) 2.087 ms 1.807 ms 1.878 ms
 2 tokyo-42.ntt-poi.FreeBIT.NET (43.244.1.49) 4.726 ms 4.755 ms 4.883 ms
 3 tokyo-42-A-0.fb.poi.FreeBIT.NET (43.244.3.145) 5.562 ms 7.749 ms 7.337 ms
 4 ae5-346.1R2.D9A.FreeBIT.NET (219.99.89.38) 5.610 ms 8.538 ms 7.812 ms
 5 * * *
 6 210.173.176.245 (210.173.176.245) 6.353 ms 6.880 ms 5.858 ms
 7 209.85.250.107 (209.85.250.107) 9.449 ms 192.178.248.173 (192.178.248.173) 7.044 ms 209.85.250.105 (209.85.250.105) 6.921 ms
 8 142.251.226.141 (142.251.226.141) 9.347 ms 172.253.75.95 (172.253.75.95) 7.669 ms 142.251.226.139 (142.251.226.139) 6.446 ms
 9 dns.google (8.8.8.8) 8.481 ms 7.076 ms 6.914 ms
  
```

※「\*\*\*」が続く場合、正常に接続できておりません。

既存ルーター等との設定を確認してください。



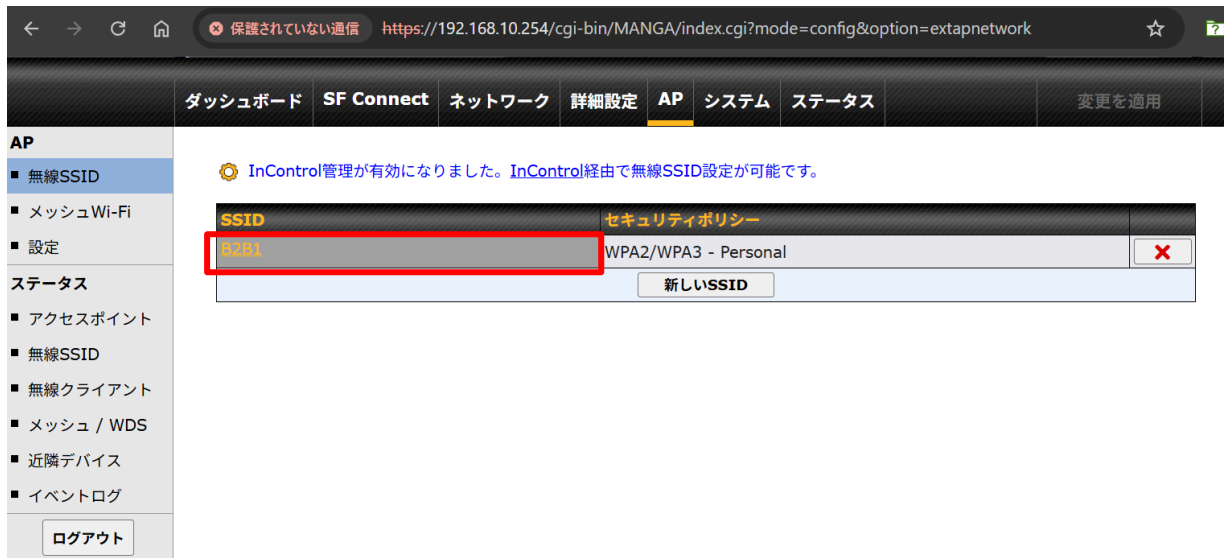
- ④ CT-AR17 の「3/WAN」側の LAN ケーブルを一度抜く。  
※これにより上流からの通信が断する、光回線障害時と同様の状況を再現しています。
- ⑤ 接続: Cellular 宛先:8.8.8.8 で Traceroute をして、接続されていれば、SIM へのフェイルオーバーが成功しています。  
※切り替わりまで 10 秒ほどかかりますので、少し待ってお試してください。
- ⑥ CT-AR17 の「3/WAN」側の LAN ケーブルを再度差し込む。
- ⑦ 同様に接続: WAN 宛先: 8.8.8.8 で Traceroute して、③と同じ表示がされれば元に戻っています。
- ⑧ Wi-Fi へ接続される場合は、本体裏面の「**AP PASSWORD**」を使用して接続してください。  
※本体裏面の情報はそれ以外使用できません。



## 6. 「WiFi (アクセスポイント)」の設定確認

- ① AP > SSID > B2B1 等を押した先で設定値を変更可能です。

※基本的に触る必要がありません。



- ② SSID: 端末で WiFi 接続時に表示させる名称

共有キー: WiFi 接続時のパスワード

※変更された場合の動作は保証しておりません。変更後の本体背面シールの再発行等も行っておりませんので、ご自身の責任にてパスワード等の管理をお願いいたします。



◆クラウドテレコム サポートセンター：<https://support.mobabiji.jp/ivr/>

Tel：03-6416-1182（ユーザー様 窓口）

※販売代理店専用窓口については、各販売代理店管理者様へお問い合わせください。

Mail：[support@mobabiji.jp](mailto:support@mobabiji.jp)

受付時間：平日 10 時～18 時、メールは 24 時間受付にて順次回答いたします。